

2023年2月14日

### 2022年度 第3四半期業績のお知らせ

MS&ADインシュアランスグループの三井住友海上プライマリー生命保険株式会社（社長：永井泰浩）の2022年度第3四半期（2022年4月1日～12月31日）業績についてお知らせします。

#### 【収入保険料】

お客さまニーズに応える競争力の高い商品の開発、金利・為替マーケット等の環境変化をふまえた営業活動により、収入保険料は順調に推移し、前年同期比+2,068億円の8,676億円となりました（グラフ1参照）。

#### 【保有契約件数および保有契約高の状況】

契約時にお客さまが設定した目標額に到達した契約の解約増加等により、保有契約件数は前年度末比△1.2%の100.6万件となり、保有契約高は同△1.9%の6兆6,731億円となりました（グラフ2参照）。

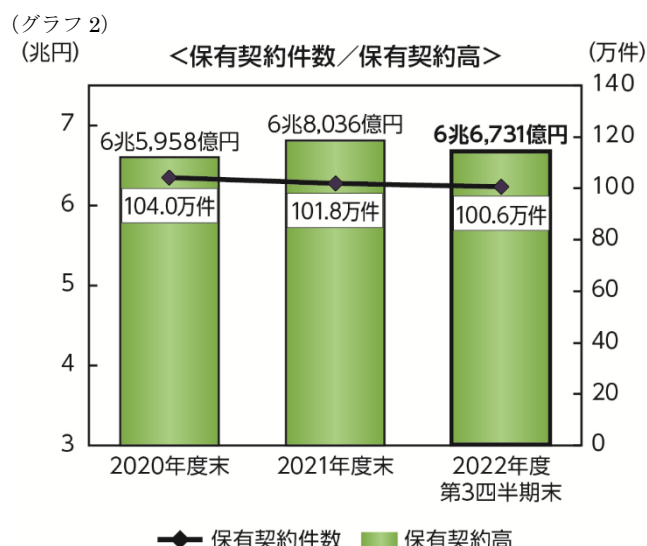
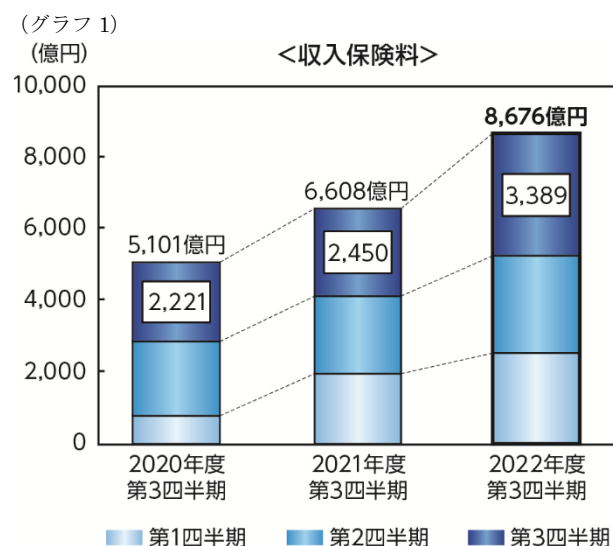
#### 【損益の状況】

安定的な運用収益があったものの、海外金利上昇に伴い発生した資産の評価損により、四半期純利益（税引後）は△2億円となりました。

#### 【健全性の状況】

経営の健全性を示す指標であるソルベンシー・マージン比率は861.2%となり、引き続き高い水準で推移しています。なお、格付会社からは引き続き高い格付けを取得しています（2023年2月14日現在）。

スタンダード・アンド・プアーズ（S&P）	保険財務力格付け	A+
格付投資情報センター（R&I）	保険金支払能力格付け	AA



以上

<本件に関するお問い合わせ先>

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社 経営企画部 広報担当 電話 03-3279-9001

## 2022年度第3四半期報告

三井住友海上プライマリー生命保険株式会社（社長 永井 泰浩）の2022年度第3四半期（2022年4月1日～2022年12月31日）の業績は添付のとおりです。

### <目次>

1. 主要業績	…… 1 頁
2. 資産運用の実績（一般勘定）	…… 2 頁
3. 四半期貸借対照表	…… 4 頁
4. 四半期損益計算書	…… 5 頁
5. 経常利益等の明細（基礎利益）	…… 7 頁
6. ソルベンシー・マージン比率	…… 8 頁
7. 特別勘定の状況	…… 9 頁
8. 保険会社及びその子会社等の状況	…… 9 頁

以上

## 1. 主要業績

### (1) 保有契約高及び新契約高

・保有契約高 (単位：千件、億円、%)

区 分	2021年度末		2022年度 第3四半期会計期間末			
	件 数	金 額	件 数	金 額		
				前年度 末比	前年度 末比	
個人保険	665	45,874	653	98.2	45,531	99.3
個人年金保険	353	22,161	352	99.9	21,200	95.7
団体保険	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険については、年金支払開始前契約の年金支払開始時における年金原資  
(ただし、個人変額年金保険については保険料積立金)と年金支払開始後契約の  
責任準備金を合計したものです。

・新契約高 (単位：千件、億円、%)

区 分	2021年度 第3四半期累計期間				2022年度 第3四半期累計期間					
	件 数	金 額		件 数	金 額					
		新契約	転換による 純増加		前年 同期比	前年 同期比	新契約	転換による 純増加		
個人保険	70	5,982	5,982	—	107	152.2	7,131	119.2	7,131	—
個人年金保険	9	662	662	—	27	284.9	1,861	280.9	1,861	—
団体保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
団体年金保険	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 個人年金保険の金額は年金支払開始時における年金原資(ただし、個人変額年金保険については契約時の保険料積立金)です。

### (2) 年換算保険料

・保有契約 (単位：百万円、%)

区 分	2021年度末	2022年度 第3四半期 会計期間末	
		前年度 末比	前年度 末比
個人保険	428,402	451,817	105.5
個人年金保険	247,556	245,828	99.3
合 計	675,959	697,645	103.2
うち医療保障・ 生前給付保障等	622	741	119.1

・新契約 (単位：百万円、%)

区 分	2021年度 第3四半期累計期間	2022年度 第3四半期累計期間	
		前年 同期比	前年 同期比
個人保険	56,262	59,413	105.6
個人年金保険	12,342	25,097	203.3
合 計	68,604	84,511	123.2
うち医療保障・ 生前給付保障等	190	119	62.7

(注) 1. 年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、  
1年あたりの保険料に換算した金額です(一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額)。  
2. 「医療保障・生前給付保障等」については、医療保障給付(入院給付、手術給付等)、  
生前給付保障給付(特定疾病給付、介護給付等)、保険料払込免除給付(障害を事由とする  
ものは除く。特定疾病罹患、介護等を事由とするものを含む)等に該当する部分の年換算  
保険料を計上しています。

## 2. 資産運用の実績（一般勘定）

### （1）資産の構成

（単位：百万円、％）

区 分	2021年度末		2022年度 第3四半期会計期間末	
	金額	占率	金額	占率
現預金・コールローン	754,286	14.5	849,032	16.7
買現先勘定	-	-	-	-
債券貸借取引支払保証金	-	-	-	-
買入金銭債権	80,995	1.6	80,995	1.6
商品有価証券	-	-	-	-
金銭の信託	2,035,737	39.2	2,003,403	39.3
有価証券	1,871,176	36.0	1,651,808	32.4
公 社 債	75,112	1.4	88,242	1.7
株 式	-	-	-	-
外 国 証 券	1,789,095	34.4	1,557,548	30.6
公 社 債	1,425,338	27.4	1,172,544	23.0
株 式 等	363,756	7.0	385,004	7.6
そ の 他 の 証 券	6,969	0.1	6,017	0.1
貸付金	288,656	5.6	283,582	5.6
不動産	274	0.0	237	0.0
繰延税金資産	80,169	1.5	132,014	2.6
その他	86,859	1.7	90,603	1.8
貸倒引当金	△ 9	△ 0.0	△ 5	△ 0.0
合 計	5,198,146	100.0	5,091,673	100.0
うち外貨建資産	3,731,381	71.8	3,615,378	71.0

（注）不動産については有形固定資産のうち建物の金額を計上しております。

(2) 有価証券の時価情報（売買目的有価証券以外）

（単位：百万円）

区 分	2021年度末					2022年度 第3四半期会計期間末				
	帳簿価額	時価	差損益		帳簿価額	時価	差損益			
			差益	差損			差益	差損		
満期保有目的の債券	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
責任準備金対応債券	776,588	780,106	3,517	11,869	△ 8,351	225,206	207,186	△ 18,019	528	△ 18,548
子会社・関連会社株式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の有価証券	2,433,844	2,432,757	△ 1,086	58,426	△ 59,512	3,091,388	2,936,029	△ 155,359	65,253	△ 220,613
公 社 債	60,910	60,831	△ 79	55	△ 135	76,055	75,096	△ 958	40	△ 999
株 式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外 国 証 券	994,140	1,026,788	32,648	50,460	△ 17,812	1,370,061	1,345,488	△ 24,573	52,092	△ 76,665
公 社 債	676,408	663,031	△ 13,376	4,436	△ 17,812	1,036,058	960,484	△ 75,574	1,091	△ 76,665
株 式 等	317,731	363,756	46,024	46,024	-	334,003	385,004	51,001	51,001	-
その他の証券	5,002	5,006	4	4	-	5,003	5,007	3	3	-
買入金銭債権	80,995	80,995	-	-	-	80,995	80,995	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1,292,795	1,259,136	△ 33,658	7,905	△ 41,564	1,559,272	1,429,440	△ 129,831	13,116	△ 142,947
合 計	3,210,432	3,212,863	2,431	70,295	△ 67,864	3,316,595	3,143,215	△ 173,379	65,781	△ 239,161
公 社 債	75,192	75,163	△ 28	117	△ 146	89,201	87,963	△ 1,238	44	△ 1,282
株 式	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
外 国 証 券	1,756,447	1,792,561	36,114	62,268	△ 26,153	1,582,122	1,539,808	△ 42,313	52,617	△ 94,930
公 社 債	1,438,715	1,428,805	△ 9,909	16,243	△ 26,153	1,248,118	1,154,803	△ 93,314	1,616	△ 94,930
株 式 等	317,731	363,756	46,024	46,024	-	334,003	385,004	51,001	51,001	-
その他の証券	5,002	5,006	4	4	-	5,003	5,007	3	3	-
買入金銭債権	80,995	80,995	-	-	-	80,995	80,995	-	-	-
譲渡性預金	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	1,292,795	1,259,136	△ 33,658	7,905	△ 41,564	1,559,272	1,429,440	△ 129,831	13,116	△ 142,947

- (注) 1. 本表には、金融商品取引法上の有価証券として取り扱うことが適当と認められるもの等を含んでいます。  
 2. 金銭の信託のうち売買目的有価証券以外のもを含み、その帳簿価額、差損益は、それぞれ、2021年度末は1,292,795百万円、△33,658百万円、  
 2022年度第3四半期会計期間末は1,559,272百万円、△129,831百万円です。

なお、市場価格のない株式等および組合等は保有しておりません。

(3) 金銭の信託の時価情報

（単位：百万円）

区 分	2021年度末				2022年度第3四半期会計期間末			
	貸借対照表 計上額	時 価	差損益		四 半 期 貸借対照表 計上額	時 価	差損益	
			差益	差損			差益	差損
金 銭 の 信 託	2,035,737	2,035,737	-	-	2,003,403	2,003,403	-	-

・運用目的の金銭の信託 (単位：百万円)

区 分	2021年度末		2022年度第3四半期会計期間末	
	貸借対照表計上額	当期の損益に含まれた 評 価 損 益	四 半 期 貸 借 対 照 表 計 上 額	当期の損益に含まれた 評 価 損 益
運 用 目 的 の 金 銭 の 信 託	776,600	△ 10,285	573,962	△ 11,292

・満期保有目的、責任準備金対応、その他の金銭の信託 (単位：百万円)

区 分	2021年度末					2022年度第3四半期会計期間末				
	帳簿価額	時 価	差損益		帳簿価額	時 価	差損益			
			差 益	差 損			差 益	差 損		
満期保有目的の 金 銭 の 信 託	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
責任準備金対応の 金 銭 の 信 託	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他の金銭の 信 託	1,292,795	1,259,136	△ 33,658	7,905	△ 41,564	1,559,272	1,429,440	△ 129,831	13,116	△ 142,947

### 3. 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	期 別	2021年度末	2022年度
		要約貸借対照表 (2022年3月31日現在)	第3四半期会計期間末 (2022年12月31日現在)
		金 額	金 額
( 資 産 の 部 )			
現 金 及 び 預 貯 金	債 権	764,012	860,283
買 入 金 銭 債	権	80,995	80,995
金 銭 の 信 託	託 券	2,035,737	2,003,403
有 価 証 券	券	3,748,856	3,196,952
(うち 国 債 )	( 債 )	( 19,266 )	( 23,406 )
(うち 地 方 債 )	( 債 )	( 1,302 )	( - )
(うち 社 債 )	( 債 )	( 54,543 )	( 64,836 )
(うち 外 国 証 券 )	( 債 )	( 1,789,095 )	( 1,557,548 )
貸 付 金	金	288,656	283,582
保 険 約 款 貸 付	付	291	275
一 般 貸 付	付	288,365	283,307
有 形 固 定 資 産	産	743	682
無 形 固 定 資 産	産	12,553	11,486
再 保 険 貸 産	産	2,482	26,742
そ の 他 資 産	産	39,109	38,874
繰 延 税 金 資 産	産	80,169	132,014
貸 倒 引 当 金	金	△9	△5
資 産 の 部 合 計		7,053,307	6,635,010
( 負 債 の 部 )			
保 険 契 約 準 備 金	金	6,545,794	6,260,234
支 払 準 備 金	金	27,676	23,603
責 任 準 備 金	金	6,518,118	6,236,631
代 理 店 借 借	借	2,847	4,198
再 保 険 借 借	借	4,950	20,790
そ の 他 負 債	債	64,209	66,746
未 払 法 人 税 等	務	4,227	-
リ ー ス 債 務	務	607	487
資 産 除 去 債 務	務	182	184
そ の 他 の 負 債	債	59,192	66,074
株 式 給 付 引 当 金	金	-	8
価 格 変 動 準 備 金	金	194,031	196,982
負 債 の 部 合 計		6,811,832	6,548,961
( 純 資 産 の 部 )			
資 本 金	金	41,060	41,060
資 本 剰 余 金	金	24,735	24,735
資 本 準 備 金	金	24,735	24,735
利 益 剰 余 金	金	182,927	160,818
利 益 準 備 金	金	11,943	16,315
そ の 他 利 益 剰 余 金	金	170,983	144,503
繰 越 利 益 剰 余 金	金	170,983	144,503
株 主 資 本 合 計		248,722	226,613
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	金	△782	△111,858
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	益	△6,465	△28,705
評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計		△7,248	△140,564
純 資 産 の 部 合 計		241,474	86,049
負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計		7,053,307	6,635,010

#### 4. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	2021年度	2022年度
		第3四半期累計期間 (2021年4月1日から 2021年12月31日まで)	第3四半期累計期間 (2022年4月1日から 2022年12月31日まで)
		金 額	金 額
経 常 収 益		1,008,337	1,460,812
保 険 料 等 収 入		733,639	979,895
(うち保 険 料)	(	660,825 )	( 867,650 )
資 産 運 用 収 益		222,145	192,055
(うち利 息 及 び 配 当 金 等 収 入)	(	48,526 )	( 53,247 )
(うち金 銭 の 信 託 運 用 益)	(	70,118 )	( 118,830 )
(うち売 買 目 的 有 価 証 券 運 用 益)	(	46 )	( 118 )
(うち有 価 証 券 売 却 益)	(	7,468 )	( 6,154 )
(うち特 別 勘 定 資 産 運 用 益)	(	75,769 )	( - )
そ の 他 経 常 収 益		52,551	288,861
(うち支 払 備 金 戻 入 額)	(	2,374 )	( 4,072 )
(うち責 任 準 備 金 戻 入 額)	(	47,065 )	( 281,487 )
経 常 費 用		954,811	1,458,728
保 険 金 等 支 払 金		912,158	1,304,728
(うち保 険 金)	(	91,950 )	( 110,510 )
(うち年 金)	(	62,430 )	( 64,157 )
(うち給 付 金)	(	199,208 )	( 212,637 )
(うち解 約 返 戻 金)	(	424,550 )	( 710,628 )
(うちそ の 他 返 戻 金)	(	2,914 )	( 4,896 )
資 産 運 用 費 用		1,339	100,960
(うち支 払 利 息)	(	9 )	( 8 )
(うち有 価 証 券 売 却 損)	(	1,281 )	( 13,568 )
(うち特 別 勘 定 資 産 運 用 損)	(	- )	( 87,159 )
事 業 費 用		33,642	43,338
そ の 他 経 常 費 用		7,671	9,700
経 常 利 益		53,525	2,084
特 別 損 失		2,485	2,951
価 格 変 動 準 備 金 繰 入 額		2,485	2,951
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)		51,039	△ 867
法 人 税 等		13,992	△ 614
四 半 期 純 利 益 又 は 四 半 期 純 損 失 ( △ )		37,046	△ 252

## 注記事項

(四半期貸借対照表関係及び株主資本等変動計算書関係)

2022年度第3四半期会計期間末

1. 四半期特有の会計処理

税金費用の計算

税金費用については、主として、税引前四半期純損失に一時差異等に該当しない差異の金額が重要な場合にはその金額を加減した上で法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

2. 消費貸借契約により貸し付けている有価証券の四半期貸借対照表価額は67,037百万円であります。

3. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日
2022年 5月19日 取締役会	普通株式	21,856	1,660,925円00銭	2022年 3月31日	2022年 5月25日

4. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。

(四半期損益計算書関係)

2022年度第3四半期累計期間

1. 1株当たり四半期純損失は19,203円56銭であります。なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純損失については、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 金額は記載単位未満を切り捨てて表示しております。



## 5. 経常利益等の明細（基礎利益）

（単位：百万円）

	2021年度 第3四半期累計期間	2022年度 第3四半期累計期間
基礎利益 A	16,321	59,747
キャピタル収益	97,891	103,938
金銭の信託運用益	44,002	69,101
売買目的有価証券運用益	46	118
有価証券売却益	7,468	6,154
金融派生商品収益	-	-
為替差益	18,426	13,150
その他キャピタル収益	27,947	15,413
キャピタル費用	61,918	159,022
金銭の信託運用損	-	-
売買目的有価証券運用損	-	-
有価証券売却損	1,281	13,568
有価証券評価損	-	-
金融派生商品費用	-	-
為替差損	-	-
その他キャピタル費用	60,636	145,453
キャピタル損益 B	35,972	△ 55,083
キャピタル損益含み基礎利益 A+B	52,294	4,663
臨時収益	1,240	4
再保険収入	-	-
危険準備金戻入額	1,240	-
個別貸倒引当金戻入額	-	4
その他臨時収益	-	-
臨時費用	9	2,583
再保険料	-	-
危険準備金繰入額	-	2,583
個別貸倒引当金繰入額	9	-
特定海外債権引当勘定繰入額	-	-
貸付金償却	-	-
その他臨時費用	-	-
臨時損益 C	1,230	△ 2,579
経常利益 A+B+C	53,525	2,084

（注） 1. 基礎利益には、次の金額が含まれております。

	2021年度 第3四半期累計期間	2022年度 第3四半期累計期間
金銭の信託運用益のうちインカムゲイン部分	26,115	49,729
外貨建て保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	60,636	145,453
マーケット・ヴァリュエーション・アジャストメントに係る解約返戻金額変動の影響額	△ 27,699	△ 11,676
為替に係るヘッジコストの影響額	△ 195	△ 3,382
有価証券償還損益のうち為替変動部分の影響額	△ 52	△ 354

2. その他キャピタル収益には、次の金額が含まれております。

	2021年度 第3四半期累計期間	2022年度 第3四半期累計期間
外貨建て保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	-	-
マーケット・ヴァリュエーション・アジャストメントに係る解約返戻金額変動の影響額	27,699	11,676
為替に係るヘッジコストの影響額	195	3,382
有価証券償還損益のうち為替変動部分の影響額	52	354

3. その他キャピタル費用には、次の金額が含まれております。

	2021年度 第3四半期累計期間	2022年度 第3四半期累計期間
外貨建て保険契約に係る市場為替レート変動の影響額	60,636	145,453
マーケット・ヴァリュエーション・アジャストメントに係る解約返戻金額変動の影響額	-	-
為替に係るヘッジコストの影響額	-	-
有価証券償還損益のうち為替変動部分の影響額	-	-

4. 当第3四半期累計期間より、為替に係るヘッジコストの影響額及び有価証券償還損益のうち為替変動部分の影響額に関して、経常利益の内訳の開示方法を変更しております。この結果、変更前と比べて、当第3四半期累計期間の基礎利益が3,737百万円減少し、キャピタル損益が同額増加しております。また、前第3四半期累計期間についても、変更後の取扱いに基づき開示しており、変更前と比べて、前第3四半期累計期間の基礎利益が248百万円減少し、キャピタル損益が同額増加しております。

## 6. ソルベンシー・マージン比率

(単位：百万円)

項目	2021年度末	2022年度 第3四半期 会計期間末
ソルベンシー・マージン総額 (A)	739,516	599,376
資本金等	226,865	226,613
価格変動準備金	194,031	196,982
危険準備金	79,070	81,654
一般貸倒引当金	-	-
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前)) ×90%(マイナスの場合100%)	△ 5,170	△ 181,412
土地の含み損益×85%(マイナスの場合100%)	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	188,425	219,343
負債性資本調達手段等	-	-
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、 マージンに算入されない額	-	-
持込資本金等	-	-
控除項目	-	-
その他	56,293	56,195
リスクの合計額	135,086	139,183
$\sqrt{(R_1 + R_8)^2 + (R_2 + R_3 + R_7)^2} + R_4$ (B)		
保険リスク相当額 R <sub>1</sub>	1,331	1,411
第三分野保険の保険リスク相当額 R <sub>8</sub>	3	2
予定利率リスク相当額 R <sub>2</sub>	29,440	34,325
最低保証リスク相当額 R <sub>7</sub>	1,366	1,261
資産運用リスク相当額 R <sub>3</sub>	101,598	100,832
経営管理リスク相当額 R <sub>4</sub>	2,674	2,756
ソルベンシー・マージン比率 $\frac{(A)}{(1/2) \times (B)} \times 100$	1,094.8%	861.2%

- (注) 1. 上記は、保険業法施行規則第86条、第87条及び平成8年大蔵省告示第50号の規定に基づいて算出しております。
2. 最低保証リスク相当額の算出に関しては、標準的方式を用いております。

### <参考>実質資産負債差額

(単位：百万円)

項目	2021年度末	2022年度 第3四半期 会計期間末
(1)資産の部に計上されるべき金額の合計額	7,055,377	6,566,195
(2)負債の部に計上されるべき金額の合計額を基礎として計算した金額	6,350,305	6,050,981
実質資産負債差額 (1)-(2)	705,071	515,213

- (注) 上記は、保険業法第132条第2項に規定する区分等を定める命令及び平成11年金融監督庁・大蔵省告示第2号の規定に基づいて算出しております。

## 7. 特別勘定の状況

### (1) 特別勘定資産残高の状況

(単位：百万円)

区 分	2021年度末		2022年度 第3四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額保険		587,821		422,172
個人変額年金保険		1,300,184		1,134,706
団体年金保険		-		-
特別勘定計		1,888,006		1,556,879

### (2) 保有契約高

#### ・個人変額保険

(単位：千件、百万円)

区 分	2021年度末		2022年度 第3四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
変額保険（有期型）	-	-	-	-
変額保険（終身型）	88	579,960	74	490,135
合 計	88	579,960	74	490,135

#### ・個人変額年金保険

(単位：千件、百万円)

区 分	2021年度末		2022年度 第3四半期会計期間末	
	件数	金額	件数	金額
個人変額年金保険	229	1,368,156	223	1,196,938
合 計	229	1,368,156	223	1,196,938

## 8. 保険会社及びその子会社等の状況

該当ありません。